

平成29年 3月30日  
東北地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について (第二部会第4回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成28年度第二部会第4回定例会議が、平成29年3月14日(火)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第二部会第4回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

### 問い合わせ先

(第二部会) 仙台市青葉区本町3丁目3番1号 TEL (022) 716-0013(ダイヤル)

契約管理官	なか 中	しま 嶋	かつ 勝	まさ 正	(内線6221)
経理調達課課長補佐	やま 山	だ 田	こう 耕	へい 平	(内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成29年 3月14日（火） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 高橋 敏彦 【(学) 東北工業大学 工学部 教授】 部会長代理 是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文学部 教授】 委員 我妻 崇 【弁護士】		
審議対象期間	平成28年10月1日～平成28年12月31日 (上記期間に契約締結した案件を審議)		
審議案件	総件数 6件 (別紙ー1 審議案件一覧のとおり)		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	0件	(備考) ・審議に先立ち、 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	3件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙ー2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

## 【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港外港地区防波堤(第二中央)基礎工事(その2)	港湾土木工事	8者	8者	H28. 10. 19	若築建設(株)	406,944	89.77	八戸港空
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	久慈港湾口地区防波堤本体工事(その3)	港湾土木工事	6者	4者	H28. 12. 27	(株)本間組	471,960	89.75	釜石港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	相馬港本港地区防波堤(沖)消波工事	港湾土木工事	1者	1者	H28. 10. 11	日起建設(株)	68,580	99.91	小名浜港湾

## 【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型競争入札方式	酒田港北港地区防波堤(北)(第二)環境調査	建設コンサルタント等	2者	2者	H28. 10. 12	三洋テクノマリン(株)	12,182	83.96	酒田港湾
簡易公募型プロポーザル方式	洋上風力発電の導入に対応した港湾施設配置のあり方検討業務	建設コンサルタント等	2者	2者	H28. 11. 18	(公社)日本港湾協会	10,249	99.05	本局

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	釜石港湾事務所庁舎で使用する電気の需給	物品の製造又は役務の提供等	3者	3者	H28. 11. 21	(株)アシストワンエナジー	2,016	88.16	釜石港湾

1. 報告	
意見・質問	回 答
<p>・談合疑義案件として2件の報告があったが、これは一定の基準に該当した案件でこれ以外の該当はなかったのか。</p>	<p>・国土交通省は、過去の談合事案から談合が疑われる応札状況として談合の疑義を調査すべき基準を定めています。談合疑義案件に該当した案件は当該2件のみで、工事費内訳書の内容確認や入札者へのヒアリングを行うなど談合の疑義について公正入札調査委員会で審議し談合がないことを確認しています。</p>

2. 審議	
意見・質問	回 答
<p>1 八戸港外港地区防波堤（第二中央）基礎工事（その2）</p>	
<p>・入札参加者が比較的多いのは、工事内容や気象条件等の影響があったのか。</p> <p>・入札参加者で内3者が同額の入札額となっていることをどのように判断しているか。</p> <p>・低入札調査基準価格に非常に近い入札額となっているが、そこまで推察できるものなのか。</p> <p>・入札額が予定価格近くに集まる工事や低入札調査基準価格近くに集まる工事もあるのは、施工上のリスクによるものか。</p> <p>・直接工事費以外の間接経費はどのように算定するのか。</p>	<p>・本工事は、基礎工と被覆・根固工の2工種と比較的単純な工事内容であることから、現場条件に不確定要素が少ない工事と捉えられたことが、入札参加者が多くなった要因ではないかと考えます。</p> <p>・入札時に提出された工事費内訳書を確認したところ、3者それぞれ独自の額を計上しているものの、当局積算の直接工事費に対しては94～95%の範囲内となっています。また、間接経費は、共通仮設費及び現場管理費が低入札調査基準価格の算定に用いる率で計上され、一般管理費も同様に調整されています。 このことから、入札額が同額となった3者は、それぞれが見積もった算定額の端数を十万円単位で切り上げた額を入札価格としたため、同額となったものと考えています。</p> <p>・本工事は、見積参考資料により工種と数量を公表していることから、単価を入力すれば予定価格が算定できるものとなっています。また、単価については、通常積算能力がある企業であれば、公表単価と市販書籍を用いて予定価格を算出することが可能です。 低入札調査基準価格は、算定率等を公表していますので、見積もった予定価格が正確であれば算定が可能です。</p> <p>・施工上のリスクによる入札額への影響は比較的大きいものと思っています。例えば、うねりの強い海域で施工する場合は、気象の影響によって作業日数が延びる事があるので、入札額が比較的高くなる傾向にあります。</p> <p>・間接経費の対象となる経費額に定められた経費率を乗じて算定します。また、経費率に含まれない安全監視船等の経費が必要な場合は、個別に算定して加算します。</p>

2 久慈港湾口地区防波堤本体工事（その3）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札を辞退した者が2者いるが、辞退した理由は把握しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞退した2者にヒアリングしたところ、いずれも配置を予定していた技術者が配置ができなくなったことにより辞退したものと聞いています。</li> </ul>
3 相馬港本港地区防波堤（沖）消波工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加者が1者と少ない理由をどのように考えているか。</li> <li>・落札率が高いが、消波構造物を陸上で製作するという工事内容で積算も容易なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所である福島県相双地区は、東日本大震災で大きな被害を受けており、地元自治体から多数の復旧・復興工事が発注されている状況にあります。これらの復旧・復興工事が優先的に受注されていることから、地元企業として当局発注工事への技術者や作業員の配置が難しい状況となっていることが入札参加者が少ない要因のひとつと考えています。</li> <li>・ブロック製作工事ということで、積算は工種や数量等も公表していることから比較的容易であり、落札率が高い要因のひとつと考えています。</li> </ul>
4 酒田港北港地区防波堤（北）（第二）環境調査	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札額が著しく低い者がいるが、その理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリングしたところ電子入札の過程で入力ミスから、桁違いの低い入札額となったものと聞いています。</li> </ul>
5 洋上風力発電の導入に対応した港湾施設配置のあり方検討業務	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果品として報告書の提出を求める業務の予定価格はどのように算定するのか。</li> <li>・業務の成果内容はどのように確認するのか。</li> <li>・提出された技術提案書を評価する時のヒアリングは、どのような方法で行うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格は、調査業務の積算基準に基づき算定します。なお、本業務はプロポーザル方式を採用したので、概算額も予め提示しています。</li> <li>・業務の途中に適宜進捗状況や内容を確認しながら進め、成果品として提出された報告書により業務内容が適切に履行されたか最終的に確認します。</li> <li>・ヒアリング時間は30分程度を目処として、技術提案書に示された業務の実施方針や特定テーマに関する技術提案等について、評価担当の職員3名が配置予定技術者に内容の確認等を行って評価しています。なお、評価担当職員3名の評価点を平均した値が最も高い者を契約の相手方として特定します。</li> </ul>

6 釜石港湾事務所で使用する電気の需給

・電気料金についてどの程度の低減が見込まれるのか。

・今後、他の事務所でも導入していく予定なのか。

・釜石港湾事務所の過去の電力使用実績を基に試算すると、概ね1割程度の低減が見込まれます。

・今回の入札は、他の事務所に先駆けて試行的に実施したのですが、電力自由化に係る課題等を整理し他事務所へ導入拡大について検討を進めることとしています。